

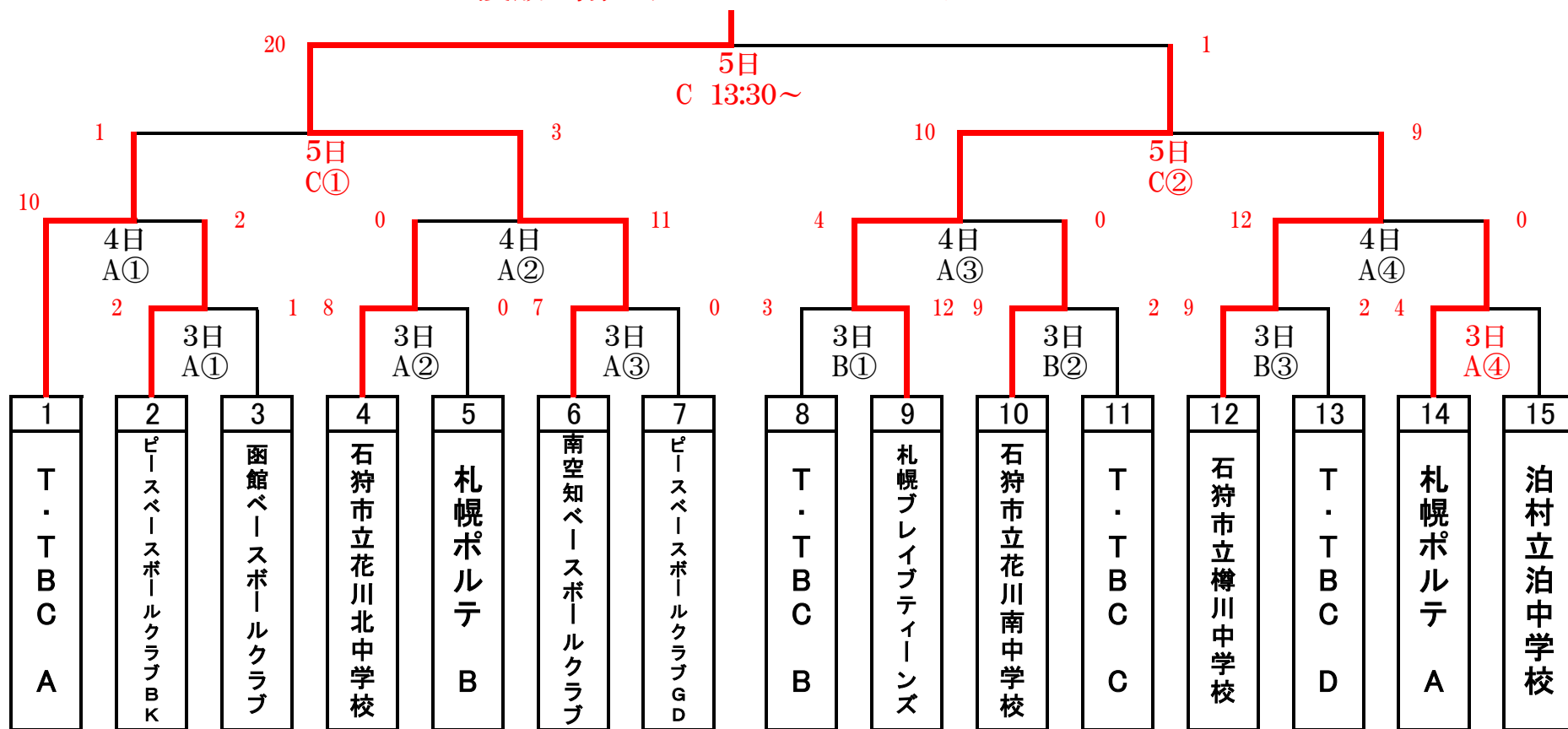
第13回 春季北海道クラブリーグ【 会田小太郎 】 杯

主催 北海道中学軟式野球連盟

会場 A ~ 前田森林公園野球場A (札幌市手稲区手稲前田591-4)
 B ~ 前田森林公園野球場B (札幌市手稲区手稲前田591-4)
 C ~ 稲積公園野球場 (札幌市手稲区前田1条5丁目)

試合開始時間
 ① : 8:45 ~
 ② : 10:45 ~
 ③ : 12:45 ~
 ④ : 14:45 ~

優勝: 南空知ベースボールクラブ



第13回 春季北海道クラブリーグ【会田小太郎】杯 大会要項 及び 登録規定

1	大会会期	令和元年5月3日、4日、5日、予備日6日
2	大会会場	札幌市手稲区 前田森林公園野球場、稲積公園野球場、前田公園野球場
3	大会主催	北海道中学軟式野球連盟 (H・J・H・R・B・F)
4	主管当番	北海道中学軟式野球連盟 審判部 ・ 連盟登録クラブチーム
5	大会規定	
①	参加規定・登録規定	本大会の参加登録には、北海道内の中学生軟式野球チームであること、大会要項を確認し参加申込を済ませたチームであること。
②	選手登録規定	本大会の選手登録は、中学1年生から中学3年生までの男女、(特別支援学校の生徒も含む)であること。硬式チームに登録をしている選手は登録できない。中体連チームに登録をしている選手は、重登録を認める。
③	指導者・選手登録規定	ベンチに登録ができる人員は、監督(30)1名、ヘッドコーチ(29)1名、コーチ(28, 27)2名迄、選手25名以内、背番号を0~99番迄、スコアラー(生徒、父母、特別人選)とする。
④	大会参加費	1チーム ¥15,000 (北海道中学軟式野球連盟口座へ振り込みとなります)
6	試合規定	※ 本大会の登録期限を4月20日までとします。
①	大会ルール	基本は2019年、公認野球規則、全日本軟式野球連盟競技者必携に基づく。 また、北海道中学軟式野球連盟特別大会規定等に基づくこととする。
②	大会使用球	ナガセケンコー株式会社製作、健康ボールM号とする。
③	監督会議・組み合わせ	今大会の監督会議は行いません。組み合わせ抽選は、大会本部にて行い、ホームページにて発表致します。
④	試合時間、延長戦	全試合を1時間50分7イニング(1時間40分を過ぎて、新しいイニングに入らない。)とし、時間内の未決着については、継続延長戦とする。また、決勝戦はこの限りではない。
⑤	特別延長戦の適用	1時間40分を超えて勝敗が決しない場合、特別延長戦として1アウト満塁4番打者からとし、勝敗が決するまで行う。この際、メンバー交換は認められない。但し、特別延長戦に出場していて急なケガ、病気等の場合は当該チーフアンパイアと両チームの監督が協議し、変更を認めるかどうか決定する。
⑥	試合成立	試合成立を4回の表裏終了とする。暗雲、雷、豪雨、グラウンド不良におけるコールドゲームは、左記とする、また、上記表裏終了時点で、7点差がついた場合もこれを適用する。審判団協議も含むこととする。
⑦	投球制限について	投手の投球制限は、1日7イニングとし、コールドゲームがあった場合には1日合計7イニングとする。 尚、延長戦直前の回を投げ切った投手は延長戦の投球を認めることとする。 イニングに端数が生じた場合は3分の1(1アウト)でも1イニングの投球をしたものとする。 チーム事情等ある場合には事前に大会本部へ相談することとする。
⑧	メンバー交換について	前の試合の5回に入った時点で、各チームの監督、主将はメンバー表3枚(相手、審判、本部)を持って大会本部へ来てください。審判員立会いの下で、メンバー交換、先攻・後攻を決すること。 ブルペンの使用は、5回終了時点から両チームの監督に必ず許可をもらい使用してください。
⑨	シートノック	試合前の、後攻側チームから、5分間とします。但し、悪天候等で中止することもあります。 ノッカーは、ユニフォーム、背番号着用で行ってください。終了1分前にコールします。
⑩	試合の疑義、アピール	疑義アピールについては、当該プレーヤーと監督のみとする。監督は疑義の申し立てをする時はタイムを宣告し、節度ある抗議に徹すること。
⑪	使用する道具について	捕手はレガーツ、プロテクター、キャッチャーズヘルメット、ファウルカップの使用を義務付ける。勿論、バッター、ランナーコーチのヘルメットも同様とする。マスコットバット、リング等のベンチ内持ち込みを禁止する。
⑫	表彰	優勝チームには、トロフィー、賞状の他、2019年度の全道中学生軟式野球大会の出場権を与える。
⑬	その他の注意事項	ベンチは番号の若い方を1塁側とし、ファールボールは両チーム協力して取りに行くこと。 また、勝利チームは次の試合のシートノック終了後、速やかにグラウンド整備をすること。

北海道中学軟式野球連盟 第13回 春季北海道クラブリーグ 要項

※ 大会ルール、特別規定

A 基本は、2019年度、公認野球規則による。

B 大会参加登録選手及び監督、コーチの登録

ベンチ登録選手は25名以内とし、背番号は「0」番から「99」番までとする。また、監督1名、コーチ3名はベンチに入ることを許可する。この際ユニフォームを着ていない指導者のベンチ入りを固く禁止する。さらに、監督は30番、コーチは27番～29番の背番号をつけること。事情がある場合は試合前に相手監督、審判員、事務局へ申し出る事。

C 試合時間と試合成立及びコールドゲームの適用

試合は、7回戦トーナメント、1時間50分以内とする、(1時間40分を過ぎて次のイニングに入らない)。試合成立は、4回終了とする。暗黒、降雨、得点差によるコールドゲームを適用する。得点差によるコールドゲームは、4回終了時7点差とする。また、暗黒、降雨で試合が中止になった場合、4回以前に終了した場合はノーゲームとし、4回を過ぎて試合が成立し、同点で中止になった場合は、再試合にしないで翌日の第一試合に先立って特別継続試合とする。但し、決勝戦はこの限りではない。

D 特別延長戦の適用

1時間40分以内で延長戦を行い、勝敗が決しない場合、特別延長戦として1アウト満塁で4番打者からとし、勝敗が決するまで行う。この際、メンバーの変更は認められない。但し、延長戦に出場していて急な怪我、病気等の場合は、当該チーフアンパイアと両チームの監督が協議して、変更を認めるかどうか決定する。

E 使用する道具について

ユニフォームはチーム同一色とし、華美な色は慎むこと、また、捕手はレガーツ、プロテクター、ヘルメット、ファウルカップの使用を義務付ける。勿論打者、ランナーコーチのヘルメットも同様とする。マスコットバット、リング、鉄棒、バットスプレーの使用持込を禁止する。

F 試合の疑義、アピール、タイム回数について

疑義アピールについては、当該プレーヤーと監督のみとする。監督は疑義の申し立てをするときは「タイム」を宣告し節度ある抗議に徹すること。また、疑義抗議、タイム時以外で監督がベンチから出ることを禁止する。タイムは守備3回、攻撃3回の計6回までとする。延長戦に入った場合は、1イニング1回とする。

G ベンチ確保、ファールボール、シートノックについて

ベンチは番号の若い方を一塁側とする。ファールボールは両サイドを各々のベンチで行い、バックネット側は攻撃チームの担当として徹底してください。シートノックは後攻から5分間とする、天候や試合の進行状況によっては中止することもある(大会本部の判断にて)。シートノックの際はベンチ登録以外の選手がグラウンド内に入ることを許可する。終了時には速やかにグラウンド内から出ること。

H 球場の利用について

勝利チームはグラウンド整備の協力をお願いします。また、ゴミの始末等にもチームの指導を徹底してください。駐車場でのトラブルには関与できませんので、応援者にも指導徹底願います。

I メンバー交換とブルペン使用について

前の試合の4回裏終了後、各チームの主将、監督はメンバー表3通を持って、事務局に来てください。また、バッテリーのブルペン使用は、5回に入った時点から可で両チームの監督に必ず許可をもらって入ってください。